

長島文芸

ながしまぶんげい

長島短歌会

一般作品

冷房にひと日こもりて応援すオリンピックを二度見る幸せ

捨てどころなき吾が憂へ終日の大雨と共に流れ欲しきに

長雨の止みて島影浮くごとく海を隔てて色鮮やかに

平安と葉言い難かりしわがひと世過ぎて思へば淡きまぼろし

石垣を包みて茂る紫陽花は夫亡き後の年月思ふ

病み癒へてダイケアに通ふ道の辺に向日葵盛り海風に揺る

吾子あらば老いるこの身を案じつつ繰り言静かに聞きてくれしを

大雨の七日続けるこの夜更けちちろ虫太く窓下に鳴く

坂之下典子

中山タマエ

浜田美代子

濱畑 松枝

松元 睦子

岩下 ち江

樫平 頼子

米尾 和子

朝の五時寺院読教流れ聞く釈迦うやまう街には像が

カーテンの白さに朝の光さし家たちこめて聞こゆる蝉の声

梅雨あけの夏の扉を開ける蝉生命の限りのうた胸に浸む

人間は何事なるも人と人心合せる難し事とよ

まな板の縁など生えしみみなばがキララゲと言ひ出世してをり

冷房の効く部屋に居て口ケンカ「俳句」

小林 貢

中仮屋辰子

後藤ヨシエ

町田 末則

母木 良平

宗方 正喜

明神俳句会

庭先の火鉢に金魚飼ひ馴らす

夕立来荷台に放る鍬と鎌

半夏生眠れぬ部屋の薄灯り

母恋へば蝶の寄り来や半夏生

コロナ禍にオリンピックの七月来

転生の様を見たりや蝉の羽化

淵脇 護 半夏生エンジン吹かす老の坂

二階堂妙子 珈琲を今朝は濃く入れ半夏生

関 佳代美 亡き母の孫に添い寝の夏のれん

白男川孝仁 電線の鳩は何処へ半夏生

大堂 早苗 夕立の走り過ぎゆく漁師町

関 喜久雄

二階堂恵子

大堂 正弘

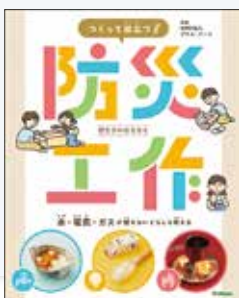
坂口 静子

迫口 君代

山崎加代子

町立図書館のおすすめ

図書館に置いてある本の中から、おすすめを選びました。バラエティに富んだ本を紹介します。



つくって役立つ! 防災工作

監修：NPO法人プラス・アーツ
身近にある材料と道具で、災害などのときに役立つ工作を紹介します。



あんなに あんなに

著：ヨシタケ シンスケ

あんなにほしがったのに、あんなに心配したのに…。日常にあふれるたくさんの「あんなに」の中で、子どもは大人になります。いま子どもと、昔子どもだったすべての人へ。

町立 指江図書館 ☎ 0996-88-6500

町立 鷹巣図書館 ☎ 0996-86-1111